

戦終結の大詔発せらる

敗戦と戦後の虚脱

新機軸の修憲に大御心
帝國四國公言を受諾

畏し萬世の爲太平を聞く

昭和二十七年八月十四日、東京皇居内。天皇陛下は、大詔を宣せられた。その大詔は、戦終結の大詔として、歴史上の一大事蹟として、後世に傳へられることとなる。陛下は、大御心を盡し、帝國の運命を憂へ、萬世の爲に太平を願はれた。この大詔は、新機軸の修憲に大御心を盡し、帝國の運命を憂へ、萬世の爲に太平を願はれた。この大詔は、新機軸の修憲に大御心を盡し、帝國の運命を憂へ、萬世の爲に太平を願はれた。

必ず國威を恢弘
學問下る途は一つ
債権を清算し矢を勿れ



連合国 マ元帥の進駐

